

上宮寺通信

第九十号

血脈と法脈

昨年、話題となったもの一つに映画「国宝」があります。日本映画(実写)の国内興行記録歴代1位となり、その人気は公開半年以上経ってもなお続いていきます。

この映画で一つのテーマとなっているのが「血」。血統とか血筋といわれるものです。歌舞伎の家に生まれた者と生まれていない者が互いに芸を磨いていく中で、二人とも「血」という目に見えないものにぶつかると。その「血」をめぐる葛藤の中で、二人は本物の「芸」を探し求めていくというのが、この映画の大きなストーリーでした。

仏教でもこの「血」ということを大切にします。特に教えが師から弟子へと受け継がれる法脈を「血脈」ともいい、「血」は単に血縁関係をいうのではなく教えの継承を指してきました。というのも、そもそも仏教では妻帯を禁じていましたので、「血脈」のつながりはなく、「血脈」法(教え)のつながりであったのです。

しかし、浄土真宗の開祖・親鸞聖人は歴史上はじめて公然と妻帯し、実子をもうけました。そして親鸞聖人のひ孫・覚如上人が本願寺を創建し、歴史の荒波にもまれながら東西に分派。いまの東西本願寺へとつながっていきます。

両本願寺とも門首(西は門主)は途切れることなく親鸞聖人の

血筋にあたる方がつとめているという歴史があります。

いまでこそ両本願寺は日本最大級の仏教教団となっていますが、覚如上人の時代は仏教界において血縁者が跡を継ぐということ自体が前代未聞のことでした。

当時、関東におられた親鸞聖人の門弟たちからも相当な反発があったといわれています。それでも、覚如上人は反対する門弟たちに認められるように、何度も京から関東へと出向き親鸞聖人の教えを受け継ぐと努力をされたのです。

特に関東におられた親鸞聖人の孫・如信上人から多くのことを学ばれ、後に覚如上人が本願寺を興した時に自らを三代目として、初代・親鸞聖人、二代目・

如信上人と三代にわたって血脈(法脈)があると本願寺の正統性を頭かにされました。それ以降、血(血筋)を受け継ぐ者が法(教え)も受け継ぐという形となったのです。

血筋にあぐらをかくことなく、法(教え)を受け継ぐことが大事である。映画「国宝」を観て、覚如上人の歩みが思い起こされました。



◆行事案内

3月7日(土)

春のお彼岸・永代経法要

時間：午前10時～

法要 引き続き 法話

(正午頃終了予定)

法話：林 祥真師(一宮市禮讚寺)

※マラソン開催のため、例年とは日にちが違います。ご注意ください。

※午後の法要、お斎、呈茶はございません。

※お持ち帰り用の軽食を用意いたします。

○ホームページ、公式LINEもよろしく願います。



ホームページ



公式 LINE

◆話題あれこれ

○年が明けてから少し寒くなりましたが穏やかなお正月を迎えることができました。元旦の修正会には本堂がいつぱいになるぐらい多くの方にお参りをいただきありがとうございました。恒例のビンゴ大会も盛り上がりました。皆様が穏やかに今年一年を過ごすことができるよう願っております。

○今年の「春のお彼岸・永代経法要」を3月7日(土)に勤めます。例年は8日に行っていたのですがマラソン開催日と重なるため変更いたしました。皆様のご参詣をお待ちしております。

○3月17日～23日まで春のお彼岸となります。八事墓地周辺では3月20日～22日の間、交通規制が行われます。八事へお墓参りに行かれる方はご注意ください。

○冬本番の寒い時期です。体調を崩さぬよう、お気をつけてお過ごしください。



東本願寺・春の法要

4月1日(水)～3日(金)

【雑感】

人生最後の食事には何を食べたいか？と聞かれたならば、「うなぎ」と答えるほどうなぎが大好き。しかし、最近は高価でなかなか気軽に食べることができません。上宮寺の近くには行列のできる超有名店がありますが、そんな有名ではなくてもおいしいお店を見つけました。昔ながらのうなぎ屋という感じで小さなお店です。皮はパリッと身はふっくらの名古屋風の焼き方。タレもくどくなく、お値段も良心的。何度も行きたくなるお店です。書きながらまた食べたくなってきました(笑)

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547